

施設

町立図書館の早期建設計画を

必要性は感じているが…

問

現在、糟屋地区内で、図書館としての建物がないのは須恵町だけです。延床面積で比較しても他町に比べ手狭で、機能的にみても不足しています。老若男女に広く利用される最たるものは図書館だと思います。町民は早期の図書館建設を待ち望んでいます。

平成26年6月議会で、同僚

答

議員が図書館の建設に向けて一般質問をしましたが、その後どのように取り組んでくれたか。また、建設予定地としてどこを考えておられるのか。そして、築41年が経過したあおば会館は老朽化が目立ち、大型地震等が来れば倒壊の恐れがあり、安心安全の観点から危険防止対策についても質問します。

中嶋町長

答

緊の課題を抱えており、緊急性の高い事業から優先的に着手しているのが現状です。図書館や文化会館は、文化施設の最たるものとして位置付けていますが、前述した事業に加え、予期せぬ災害発生に備えた人命最優先の防災拠点の整備も重要です。役場敷地内の中央防災センター、佐谷地区の東部防災センターの建設に加え、新たに



世利 孝志 議員

平成26年6月の一般質問で、図書館建設について話をさせていただき、その必要性は感じています。しかしながら、高齢者福祉施策・待機児童問題・学校の増改築や耐震化工事など、住民生活に直結する喫



築41年が経過した あおば会館

須恵区に中部防災センターの用地取得を行うなど、現在のところ計画が立てにくい状況にあります。今後、建設の時期や場所、用地購入の問題、施設の概要、経営形態なども含め、次期複合施設として何がいいのかを専門家を交え、考えていきたいと思います。

委員会レポート

総務建設産業委員会

水道水の安定供給

生活の基盤となる水は、須恵ダムなど町単独水源のほか、福岡地区水道企業団から受水を確認し、各家庭に安定して供給されています。2月8日(月)、その福岡地区水道企業団関連3施設を視察しました。



独立行政法人水資源機構 筑後大堰管理室

筑後川の河口23kmの位置にある筑後大堰は、総延長約500mの可動堰で、福岡・佐賀県内330万人の水道用水および農業用水を確保するため、

流況の変化に対応した操作が行われています。



独立行政法人水資源機構 福岡導水管理室

須恵町を含む、福岡都市圏9市7町の水道用水として、筑後大堰の湛水区域内から取水し、水圧で約80m押し上げ、大野城市の牛瀬浄水場まで延長約24・7kmを、365日24時間通水しています。最大毎秒2164m³の通水を行うため、ポンプの管理や厳しい監視が行われています。



海の中道 海水淡化センター

海水から淡水へ



福岡地区水道企業団は、筑後川からの導水、各ダムの水源のほか、海水淡化事業を進め、安定給水を確認しています。 玄界灘より取水し、一日の生産量は、最大5万m³です。



町上下水道課との意見交換

2月に福岡を襲った大寒波により、須恵町でも町内各地域で水道管の破裂が発生しましたが、給水不可による断水はありませんでした。町の水源だけでなく、福岡地区水道企業団から受水しているため防げた事案です。普段の生活用水はもとより、災害等、いざというときに対応できる水が確保されています。

須恵町を より良くするために



2月12日(金)、議会と区長会との懇談会を実施しました。議会から、ぼた山の今後の開発計画について説明をさせていただき、防犯灯の費用負担、消防団への援助金、行政区加入への行政措置、空き家対策等の意見交換を行いました。

議員・区長による合同の須恵町を知る企画(郷土史の勉強会、岳上登山等)の実施により、須恵町の魅力発信のきっかけにしたとの意見が出され、須恵町が魅力ある町になるよう共に協力していくことになりました。 今回が、初めての懇談会でしたが、さらなる意見の交換ができるよう、毎年実施していく予定です。



昭和60年から生活を支え続ける可動堰



高水圧で通水する大型ポンプ